

第403回:趙家の人々

「チボ一家の人々」はマルタン・デュ・ガールの、「榆家の人びと」は北杜夫の大河小説。一方「趙家の人々」は、藝術的香りの欠片もないトリビアルなチャイナジョークだ。

8月6日(日)の新聞各紙は一斉に、「“習思想”党規約入りか(読売)」、「習主席の重要講話“思想”に格上げ?(朝日)」、「習思想 進む権威づけ(毎日)」といった具合で、今秋の党大会で、習近平主席が毛沢東と並ぶ権威を確立する可能性について報じている。これは習氏が今秋、胡錦濤、江沢民、鄧小平をすっ飛ばして、毛沢東に並ぶかもしれないということで、もしそうなれば、5年前に「習近平—共産中国最弱の帝王(矢板明夫著/文藝春秋社)」と揶揄された習さんが大化けすることになる。

共産党規約に明記されている行動指針は、①マルクス・レーニン主義、②毛沢東思想、③鄧小平理論、④「三つの代表」、⑤「科学的発展観」の5つ。毛沢東が革命を唱え、鄧小平が改革開放を主張、江沢民が共産党の国民党政党化への道を開き、胡錦濤が高度成長の歪みを是正しようと訴えた…そんな流れかな。

毛沢東思想は別格として、③鄧小平理論は同氏が亡くなった1997年の党大会で、④は江沢民元総書記が退任した2002年の党大会で、⑤は胡錦濤前総書記が引退した12年の党大会で行動指針に明記されたものである。習近平氏は未だ現役だ。加えて④、⑤は党規約に提唱者の名が記されていない。

もし習近平氏の名前を冠した「思想」ないしは「理論」が登場すれば、それだけで江沢民、胡錦濤を凌駕することになる。因みに共産党の世界では、理論よりも思想の方が格上であり、もし「習近平思想」が誕生すれば、「鄧小平理論」を超えることになる。胡錦濤以外の4氏は皆「党の核心」と位置付けられていることを加味すると、中国現代史において、**毛沢東&習近平>鄧小平>江沢民>胡錦濤**、の不等式が誕生するかも。

習氏思想の規約入りの可否については、ちょうどいま開かれている非公式の「北戴河会議」で議論されており、抵抗する長老もいるだろうから実現するとは限らない。しかし、先月末に開かれた党の重要会議で、政権No2の李克強首相は、習主席が就任以来「一連の新たな重要思想を打ち出している」と発言しており、また政権No5でイデオロギー担当の劉雲山政治局常務委員も「習総書記講話を指針として、19大の宣伝活動を推進せよ」と指示し、北京市トップの蔡奇書記も「習講話は一連の重要思想を打ち出した綱領的文献だ」と、三人が口を揃えている。

李首相は胡錦濤派、劉常務委員は江沢民派、蔡奇は習主席の側近であることを考えると、現執行部は「習思想」で意思統一したようだ。

ことほどさように、習一極体制は着々と既成事実化しつつあり、ここまでくれば習指導部は、政権維持に余裕綽々と誰でも思う。しかし実情はそうでもなさそうだ。最近、共産党によるメディア規制は強まる一方で、ネット上で政権を揶揄するようなビミョーな単語「敏感詞」が次々に削除されており、検索しても「Not found (error to origin)」となって、ヒットしない。

NGの一例として有名になったのが「趙家の人々」だ。魯迅「阿Q正伝」で、字も読めない浮浪者の阿Qが、

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3

村の金持ちである趙家の息子が科挙に合格したと聞き、「あいつは俺の親戚だ」と周囲に自慢したところ、翌日趙家に呼ばれ「でたらめこくな」と、ポコポコにされたというくだりがある。

そこから転じ、ネチズンたちは権力の中枢を「趙」と暗号化、「趙家軍」＝人民解放軍、「趙家日報」＝人民日報、そして「趙王」＝党総書記などと呼び始めた。「趙家人(趙家の人々)」が習ファミリー、もしくは習派を指すのは云うまでもない。残念ながらあつという間に NG 指定された。

ネット警察は 習氏の腹心についても目を光らせている。習主席の腹心として反腐敗政策に大鉦を振るい、政敵を次々に摘発する党中央規検委の王岐山書記に関し、ネチズンたちは一時、王岐山の「岐」の字を分解し、「王山支山」のコードを使ったが、即見破られて検索できなくなった。王岐山(ワンチーシャン)と発音が似ている「七三(チーサン)」まで、微博では一時検索できなかったという。

「6・4日、天安門事件」と検索できないので、6月4日を「5月35日」と隠語化しても、すぐにブロックされるというから、ネチズンのなかに間違いなく体制のイヌが隠れているようだ。

習氏の肝煎りで設立された AIB(アジアインフラ投資銀行)は、その強引な出資金集めが、よく批判されているが、誰が名付けたのか、習近平(シージンピン)とほぼ同じ発音の「吸金瓶」が登場した。秀逸な傑作だと感嘆久しゅうしていたら、あつという間に、これもブロックされてしまった。

英フィナンシャル・タイムズ紙(FT)は魔女狩りに似た中国の言葉狩りについて、「中国政府にはユーモアが通じない」と一刀両断に切り捨てた。

FT の指摘は、中国外交にも当てはまる。中国のみならず北朝鮮、韓国等の隣邦の外交に欠けているのがユーモア精神。歴史や領土問題、婦人問題等で日本に強い不満を持つのは分かるが、一流国を目指すのであれば、痛罵一辺倒の発言ではなく、品位とユーモアに配慮した外交が必要だ。

最近、中央党校の機関紙「学習時報」の元副編集長・鄧聿文氏が、FT に「中国外交に対する9つの反省」と題した論文を寄せ、中国外交のあるべき姿についての考え方を示したのが注目されている。

同氏によると中国の外交はアメリカを見習い、世界各国から「畏怖されると同時に尊敬される」ことが必要であり、対米外交では「メンツむき出しの対抗意識」の是正、アジアでは「日本を醜悪視、仇敵視」、「韓国を嫌悪」する政策から友好親和政策に方針転換すべきとしている。本来は外交担当の王滬寧政治局委員や王毅外相が云うべき指摘だが、そんな度量も度胸がない彼らが、密かに評論家に云わせたのだろう。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成29年8月8日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱 UFJ 信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

① 株式の手数料等およびリスクについて

- ・ 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大 1.2420% (税込み)、最低 3,240 円 (税込み) (売却約定代金が 3,240 円未満の場合、約定代金相当額) の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。
- ・ 外国株式等の売買取引には、売買金額 (現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額) に対して最大 0.8640% (税込み) の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

② 債券の手数料等およびリスクについて

- ・ 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③ 投資信託の手数料等およびリスクについて

- ・ 投資信託のお取引にあたっては、申込 (一部の投資信託は換金) 手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④ 株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- ・ 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大 0.0864% (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- ・ 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大 4.320% (税込み)、最低 2,700 円 (税込み) の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

3/3

